



Session Manager の設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [Session Manager の概要, 1 ページ](#)
- [Session Manager の注意事項および制約事項, 2 ページ](#)
- [Session Manager の設定, 2 ページ](#)
- [Session Manager 設定の確認, 4 ページ](#)

Session Manager の概要

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチモードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- **コンフィギュレーションセッション**：セッション マネージャ モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス検査が失敗した場合にエラーを返します。
- **検証**：既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- **コミット**：Cisco NX-OS は設定全体を確認して、デバイスに対する変更をアトミックに実行します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- **打ち切り**：設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

- Session Manager は、アクセス コントロール リスト (ACL) 機能のみサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。

Session Manager の設定

セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure sessionname	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。セッションの内容を表示します。
ステップ 2	switch(config-s)# show configuration session [name]	(任意) セッションの内容を表示します。
ステップ 3	switch(config-s)# savelocation	(任意) セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure sessionname	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッション コンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	switch(config-s)# ip access-listname	ACL を作成します。
ステップ 3	switch(config-s-acl)# permitprotocol source destination	(任意) ACL に許可文を追加します。
ステップ 4	switch(config-s-acl)# interfaceinterface-type number	インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	switch(config-s-if)# ip port access-groupnamein	インターフェイスにポートアクセスグループを追加します。
ステップ 6	switch# show configuration session [name]	(任意) セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッションを確認するには、セッション モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# verify [verbose]	コンフィギュレーションセッションのコマンドを確認します。

セッションのコミット

セッションをコミットするには、セッション モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# commit [verbose]	コンフィギュレーションセッションのコマンドをコミットします。

セッションの保存

セッションを保存するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# savelocation	(任意) セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

セッションの廃棄

セッションを廃棄するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# abort	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

Session Manager のコンフィギュレーション例

次に、ACL 用のコンフィギュレーションセッションを作成する例を示します。

```
switch# configure session name test2
switch(config-s)# ip access-list acl2
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config-s-acl)# exit
switch(config-s)# interface Ethernet 1/4
switch(config-s-ip)# ip port access-group acl2 in
switch(config-s-ip)# exit
switch(config-s)# verify
switch(config-s)# exit
switch# show configuration session test2
```

Session Manager 設定の確認

セッションマネージャの設定情報を確認するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
show configuration session [name]	コンフィギュレーションファイルの内容を表示します。

コマンド	目的
show configuration session status <i>[name]</i>	コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
show configuration session summary	すべてのコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

